

風のように

甘木教会

主任牧師：白川道生

牧会委嘱牧師：竹田孝一



兄弟よ、わたしはあなたの愛から大きな喜びと慰めを得ました。聖なる者たちの心があなたのお陰で元気づけられたからです。 フィレモン1:7

自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれわたしの弟子ではありえない。 ルカによる福音書14:27

【説教要旨】

今後の宣教についての全国の宣教方策委員会がありました。分かっていることですが、宣教（伝道）の困難さと停滞、牧師は、50人台になるだろうという働き人、牧師の不足ということです。そのために伝道方策を考えているのです。現代の教会の危機だとありますが、教会の危機は、いつの時代もあったのではないか、時が良くても悪くても、私たちは世にあってどう福音を伝えていくかということが大切ではないかと思い、感じています。

当然、私たちは教会の分析、あり方を考え、これからどうするかということを作成し、実行していく中で、ここで忘れてはいけないのは、教会の最初の危機を救った大宣教者パウロの感性です。

フィレモンへの手紙に奴隷オネシモという人が出てきます。恐らく彼（オネシモ）がしばらくあなたのもとから引き離されていたのは、あなたが彼をいつまでも自分のもとに置くためであったかもしれません。その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄

弟であるはずで。「あなたのもとから引き離されていた」とありますが、オネシモはフィレモンから逃げた逃亡奴隷であったと思われます。逃亡奴隷は主人のもとに返され、奴隷の運命は主人の意のままであったのです。しかし、パウロは、これを逃げたと言わず、「あなたのもとから引き離されていた」という表現は、人の行為でなく神の行為が起きたと受けとめる感性です。私たちには、「人の行為でなく神の行為が起る」ここに立つのです。ルターはローマ書序文で「信仰とは私たちのうちにおける神の働きである」と言います。この確信、信仰こそが、ローマ社会にとって、これはとても受け入れがたいことが起きるのです。信仰に奴隷のオネシモが導かれて、兄弟となったという喜ばしい出来事が起こり、また当時の社会が求めた課題に応え、ローマ社会を揺るがすほどの「もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者」である。奴隷を「つまり愛する兄弟としてです。」と一人の愛の対象と捉えたのです。ここに多くの人が教会に溢れて、殉教さえ恐れない教会とされていきました。

その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずで。

教会は、「人の行為でなく神の行為が起る」というところに腰を据えたのです。イエスさまの厳しい言葉も福音と受け留めていき、福音書に書き留めたのです。

もし、だれかがわたしのもとに来るとしても、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹を、更に自分の命であろうとも、これを憎まないなら、わたしの弟子ではありえない。

自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれ、わたしの弟子ではありえない。

だから、同じように、自分の持ち物を一切捨てないならば、あなたがたのだれ一人としてわたしの弟子ではありえない。

フィレモンがオネシモを奴隷としてでなく、兄弟として受け入れていくな、社会の大きな圧力がかかってくるかもしれませ

ん。それは十字架を負うことであり、奴隷と言う持ち物を捨てることです。しかし、それがイエスの弟子となることです。だから、わたしを仲間と見なしてくれるのでしたら、オネシモをわたしと思って迎え入れてくださいとパウロのフィレモンに対する願いは、あなたがイエスさまへの弟子となって欲しいという祈りが強くあるのです。フィレモンが弟子となるということは、そうです。兄弟よ、主によって、あなたから喜ばせてもらい、キリストによって、わたしの心を元気づけてくれることであるというのです。

フィレモンへの手紙に「心」ということばがでてきます。心は、慈しみと憐みの出てくるところということを意味しています。フィレモンが弟子となること、それは具体的にはオネシモを兄弟として迎え入れ慈しみと憐れみ、積極的実践的愛が、私、パウロを元気づけるというのです。なぜなら、慈しみと憐みは、主によって、キリストによって起こされることですから。道徳的なところから、あるいは、ヒューマニズムの人類愛ということから起きるものでなく、「**人の行為でなく神の行為が起る**」ことによって、キリストが働かれてキリストに従う、弟子とされる者の心を通して起きるのです。「**人の行為でなく神の行為が起る**」という信仰は、人を自由にし、人は隣人において他者のために、**そうです。兄弟よ、主によって、あなたから喜ばせてもらい、キリストによって、わたしの心を元気づけてくれる愛の奉仕に力を尽くす生き方をするのです。**

私たち自身が、**人の行為でなく神の行為が起る**ここに立つことが、私たちを自由にさせてくれます。

宣教（伝道）の困難さと停滞という現代の教会の危機だとありますが、教会の危機は、いつの時代もありました。教会の危機の時こそ**人の行為でなく神の行為が起きる**のです。

だから、時が良くても悪くても、私たちは世にあつてどう福音を伝えていくかということが大切です。**自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれわたしの弟子ではありえない**と時代の十字架を背負い、応えていく宣教を共に。

牧師室の小窓からのぞいてみると



「今の世界を見てみると、あまりにも酷く、悪魔に満ちていませんか」と神に問いたくなる世界があるように思える。神よ、裁いてください。

あなたは、言われました。「然り、わたしはすぐに来る。ヨハネ黙示録 22：20」、今ではないですか。

あなたの民、イスラエルは、なんと醜い手段を使って、弱いガザの人々を飢えと恐怖の中に陥れています。イスラエルの彼らが神の民とは思えません。

預言者エレミヤが、「主の怒りは、思い定められた事を成し遂げるまではやまない。終わりの日に、お前たちは、このことをはっきりと悟る」と事実を起こしてください。

現代世界を私は、そう思いますが、ヨハネ黙示録は、「主イエスの恵みが、すべての者と共にあるように」と結びます。

未来を信じて、この祈りを捧げられますように。

園長・瞑想？迷走記



今年の夏休み中、幼稚園の先生、職員は、それぞれが、集中していただいた。これから、幼稚園にしても、保育園しても、教育、保育の質が問われていく。だから、学びを止めてはいけない。

これから、子どもたちが置かれていく社会は、すごい速さで大変化していく。この大変化に子どもたちが強く生きていくことが出来るのは質の高い幼児教育、保育を受けたかどうかである。

そのために、先生、職員自身が質を高める自覚をしていただくことが、大切であると思う。

そこで、今年は、こちらが研修情報を先生、職員に提供し、自分で選んでいただいた。

一つでも自分に思い当たることがあり、教育、保育にそれぞれの教育、保育現場で生かさればと期待している。研修が出来るように時、場を作るのが、園長の仕事であろうと思い、ここまで来た。

日毎の糧

聖書：神に従う人の道を主は知っていてくださる。

神に逆らう者の道は滅びに至る。 詩編 1：6



ルターの言葉から

私たちの主であり、師であるイエス・キリストが、『あなたがたは悔い改めなさい・・・』と言われたとき、彼らは信じる者の生涯が悔い改めであることを欲したもうたのである」

ルターの95箇条の提題

知 恵

格言、ことわざ、金言などによって、表現し、世界の秩序を教え、諭すとともに、人生の諸問題に対処する处世訓の要素も含む「知恵」を伝えるのが、知恵文学といわれ、旧約聖書の「箴言」「ヨブ記」「コヘレトの言葉」「知恵の書」「シラ書（集会の書）」をさして使われている言葉です。

では、上記の聖書の中で、「知恵」とはどういうものと考えられているのでしょうか。

知恵文学の特徴は「主を畏れることは、知恵のはじめ」と言われています。知恵は、万物に先立って存在し、神のもとにあって、創造のみわざに参与しました。知恵に従うことは、律法に従って生きることと同義語に用いられています。（「キリスト教豆知識」女子パウロ会 ラウダーテより）」ということなのです。

イエス・キリストが私たちに新しい律法をくださいました。神の愛、隣人への愛です。

「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」

イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』22:38 これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。

マタイによる福音書 22：36－40

祈り：いつもあなたを愛するものとしてください。すべての人が悔い改めて戦うよりも愛する世界を実現させてください。

みなささぐ



銀座のホステスであった作詞家、直木賞作家の山口洋子さんが、伊集院静さんとの対話でおもしろいことを言われています。

伊集院さんが、銀座での一番粋な遊びかは問うと、「銀座の遊びというのは、十万円払ったら十万円の見返りを求めないこと。所詮ムダなものなのです。だから、十万円をその日にパッと捨ててしまう。そうすると、次に遊ぶときに一万円しかもっていなくても、十万円の遊びが返ってくることもある。・・・カネはドブへ捨てるんだという覚悟で遊べば、必ずモテます。・・・」（伊集院静の流儀 伊集院静 文藝春秋）

イエスさまに怒られそうだが、「だから、同じように、自分の持ち物を一切捨てないならば、あなたがたのだけ一人としてわたしの弟子ではありえない。」ということを説明しているように思える。

1. 「見返りを求めない」。讃美歌（讃美歌21 566）に「むくいを望まず」とあるように。
2. 金に執着しないということ。私は銀座では遊べないが、イエスさまと遊びたい、遊ばれたい。イエスさまに好かれる（モテる）なら持ち物を（金）をドブに捨てるようなところまでの心構えが出来ればよいと思います。

聖歌（541、新聖歌391、救世軍聖歌237）に「わが手に主をささげまつりて・・・みなささぐ、みなささぐ 我が、主のみ前に みなささぐ」と讃美歌があります。

信仰の一番な粋な遊び方かもしれない。

（甘木日記）土）熱も下がっているので休み事にしているが、メールのやり取りをする。また読み損なっていた本を読む。日）主日礼拝に多くの助けをいただきやっと出来た。感謝。月）羽村幼稚園と zoom 会議。大学病院行く。体調は良くなっている。火）体調もよく幼稚園に最後までいて仕事。水）体調は良かったのだが、午後から胃が痛み、高熱になる。木）朝は体温38.6度、松崎での礼拝を休むが36.7度に下がる。体が変である。静かに寝る。主日の準備。金）週報他を送りホット。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。
ぐちらない聖人（牧師）もいますが。



日善幼稚園の宝

キリスト教主義的保育と保育の内容の充実と常に応えていく姿勢と実行。主にある喜び。

キリスト教保育に教会員、教職員が全力を注いで取り組む。

